

地域福祉情報紙「ねりま」にあなたの活動を掲載しませんか？ イベントや会員募集などの情報をお寄せください！

お問合せ：練馬区福祉部経営課 ☎5984-2716 E-mail: tiikifukushi02@city.nerima.tokyo.jp



「だれもが健やかに暮らす」地域のために

平成23年(2011年) vol.11

発行：練馬区福祉部経営課 編集：練馬まちづくりセンター 発行部数 15,000部 (隔月発行)

いちばん身近な相談窓口

「民生・児童委員」

「民生・児童委員」とは…？

民生・児童委員は民生委員法に基づき、国から委嘱を受け、市町村に配置されているボランティアです。全国で23万人。練馬区内では12月に新しく委員となる134名を含む560名が委嘱を受けました。

練馬区民生・児童委員協議会 代表会長

三橋道子さんにお話をうかがいました！

まちに、ひとに寄り添って 大好きなまちのために

三橋さんは自営業のかたわら、委員の活動を21年間続けています。地域に気になる人がいれば、買い物の帰りに様子を見に行ったり、夜、灯りがついていないか確認したりと、細やかな気配りで活動を行ってきました。見守りが必要な方には訪問をして話を聞き、必要な情報の提供もします。幼児虐待、障害者や高齢者の見守りなど、身近な相談役として常にまちに寄り添っています。

「このまちが好きだから、続けることができるのです」と、おっしゃる三橋さん。委員の活動に給与や謝礼などの報酬は一切ありません。けれども、結婚以来長年住み続け、顔なじみも多いまちで問題が起きたとき、悩んでいる人がいるときに役立てることは、何物にも変えがたい喜びがあります。「抱えていた課題が解決したときには達成感がありますし、やりがいを感じています。」と嬉しそうに語ってくださいました。

相談にのった方から『ありがとう、助かった』と言われたときは、涙が出るほど嬉しく、生きがいを感じました。

地域の信頼を受けて

民生委員の活動は、信頼関係が何よりも大切。地域のことをよく知り、周囲からの信頼が厚い方を、各地域の町会長さんなどが「あの人にお任せしたい！」と推薦します。そして、推薦会での慎重な審議を経て、厚生労働大臣が委員を委嘱するのです。



委嘱状伝達式の様子 志村区長から委嘱状を受けます



もっとお役に立ちたくて

「みなさんのお役に立ちたくて、今も勉強を続けています。そのために、委員同士が集まって地域の課題について話し合ったり、研修や講習会、施設見学にも参加します。」活動を続けられ続けるほど、もっとまちのためにという思いが生まれ、三橋さんは日々努力を続けられています。

そっと打ち明けてみませんか？

「恥ずかしい」「相談事がご近所に知れてしまったらどうしよう」と、悩みを抱えていることはありませんか？ まちの人と密接に関わる活動ですから、秘密は厳守します。介護の悩みや子育ての不安など安心して相談してみてください。

わたしのまちの「民生・児童委員」さん

自分の地域の民生・児童委員についてお知りになりたい方は、地域福祉係へお問合せください。

練馬区役所福祉部経営課地域福祉係 ☎ 03-5984-2716



委員さんが大集合！練馬区中でこんな大勢の委員が活躍しています

用語解説 民生委員と児童委員

民生委員は民生委員法、児童委員は児童福祉法にそれぞれ定められています。民生委員は地域住民に対しての活動、児童委員は子ども達や、子育て中の親への活動を行うとしています。ただし、児童福祉法第16条に基づき、民生委員は、児童委員を兼ねることとされているため、民生委員と児童委員は同じ人になっています。その民生・児童委員の中からさらに子どもに関することを専門に担当する主任児童委員が練馬区では40名選ばれています。

主任児童委員

主任児童委員は子どもの福祉に関連する仕事や活動の経験者から選ばれ、関係する地区の民生・児童委員と一緒に活動します。

ここでの接客に立つうちに、利用者の表情や服装が変わってくるというお話を、副施設長の清水正雄さんに伺った。地域の人と接することは、社会とつながりのなかつた女性たちが、人との信頼を結び、社会での居場所を見つげるための力になるという。



高い天井の心地よい空間 カフェの他に手作り雑貨も



喫茶シオン【問合せ】 3924-2002 (いずみ寮)

寮の開設は昭和三十三年。地域との結びつきの歴史が傷ついた女性たちの回復を支えている。

コラム

喫茶シオン（女性たちの家 いずみ寮） 再出発を支える人とのつながり

光にあふれ、窓から大きな木立と広い空が見える店内。春には庭先に二面のスミレ。大泉学園の静かな住宅街、女性の自立を支援する「いずみ寮」の敷地に居心地の良い喫茶店が開店したのは7年前。地域交流、利用者の就労支援の一環として、手作りのハーブティなどを提供する。棚に並ぶカラフルなバッグ、チワワのバッグは利用者が作った自主製品。ギャラリーや、古着や雑貨を売る「いずみ市」の会場にも利用されることも。 たくさんの方の地域ボランティアに支えられている。毎年11月の第二土曜日に開催しているバザーには、百人近いボランティアが集まる。喫茶シオンも利用者でボランティアの二人一組で営業。二十年続く配食サービスや自主製品の縫製なども多くの支え手がいる。

2月3月4月のイベント情報

- 2月 9(水)~28(月) 10:00~20:00 さき織り展 ~よみがえる古布~ *社会福祉法人つりこの家 ☎ 5387-2477
11(祝・金) 14:00~16:00 第6回 シンポジウム 「わたしの生老観」 *成年後見推進ネット これから ☎ 3550-7217
19(土) 13:00~15:30 ためしてなっとく! 地域の活動 *練馬区役所福祉部経営課 地域福祉係 ☎ 5984-2716

- 3月 5(土) 10:00~14:30 第4回 ねりま子育てメッセ *ねりま子育てネットワーク ☎ 090-3745-5851
5(土) 13:30~16:00 関 音楽フェスティバル *しあわせ福祉ネット・関 ☎ 3929-1467
19(土) 13:00~16:00 ボランティアサークル 一三三会 定例活動 *関町ボランティアセンター ☎ 5903-8381

- 23(水) 13:00~16:30 みんなのおながかい *建生会 ☎ 090-5209-7816
26(土) 午後 福祉のまちづくり パートナーシップ 区民活動支援事業 最終報告会 *練馬区役所福祉部経営課 ひと・まちづくり推進係 ☎ 5984-1296

- 4月 1(金) 13:00~16:00 ボランティアサークル 一三三会 定例活動 *中村福祉ケアセンター ☎ 5903-8381

地域でお探しの方は色別にご覧ください

色別地域マップ: 西大泉町/西大泉/大泉学園町/大泉町/南大泉/東大泉 (青); 土支田/旭町/光が丘/田柄/高松/春日町/北町/平和台/錦/早宮/氷川台 (緑); 関町北/関町東/関町南/立野町/石神井台/上石神井/上石神井南町/石神井町/下石神井/三原台/谷原/高野台/南田中/富士見台 (赤); 貫井/向山/練馬/中村北/中村/中村南/豊玉北/豊玉中/豊玉南/豊玉上/桜台/羽沢/栄町/小竹町/旭丘 (黄)

相談情報ひろば



「気軽に立寄れて、ちょっとした相談もできる所があったらいいな」「身近に地域のたまり場が欲しい」(平成16年地区座談会より) そんな皆さんの声により生まれた区民発のひろばは、現在区内に9カ所あります。

- ① あおぞら広場 ☎ 03-5934-1385
② パワーアップ春日 ☎ 03-6760-0201
③ ハーモニー北町 ☎ 03-3934-2878
④ まちの駅 大泉学園 ☎ 03-3923-2448
⑤ 「ちょっと・ホッと」 ☎ 03-6915-9315

- ⑥ ウェルカム石神井公園 ☎ 03-3995-8789
⑦ ほのぼの館・関 ☎ 03-5903-8381
⑧ SANBAの家 ☎ 050-1133-3227
⑨ 食遊 ☎ 090-3081-8283

イベント情報

つくりっこの家 さき織り展 ~よみがえる古布~
練馬駅北口の地域の情報の発信源でもあるコーヒー豆店「ビーンズアクト」で、さき織り展を行います。

練馬健康と生きがい語る会「健生会」
みんなのおんがくかい
高齢者・障がい者団体と若手音楽家のコラボによる、合唱、独唱、コーラス、指笛、ウクレレ演奏、オカリナ吹奏、管弦楽四重奏等の楽しい音楽会です。

しあわせ福祉ネット・関 第6回 しあわせ福祉ネット・関 音楽フェスティバル
音のある町を目指し、みんなで楽しめる場を作りたいと願って、実現した音楽会です。

ねりま子育てネットワーク 第4回ねりま子育てメッセ ~「つながろう・広げよう・子育ての輪」~
一人じゃない子育ての情報や、楽しいミニイベントいっぱい「子育て応援博覧会」です。

練馬区役所福祉部経営課地域福祉係
ためしてなっとく!地域の活動
大泉地域を中心にさまざまな地域活動をしている団体が集合し、日頃の活動について詳しくご紹介します。

定例の活動情報

ボランティアサークル 一二三会
体験を通して視覚障害者への理解を深めてみませんか。当事者のお話を聞いたり、町で出会ったときのガイドの方法や、初歩的な点字を行ないます。

点訳サークル小鈴会
点訳ボランティアをしてみませんか
点訳サークル小鈴会では、一般書を中心に点訳奉仕活動をしています。

サークル「しえもあ」は19歳になりました。
■ サークルなのに「家事・育児援助」?
■ ワーカー(協力会員)になりませんか?

「これから塾」PartIII 第6回 シンポジウム「わたしの死生観」
現代の超高齢化社会は多死社会でもあります。私たちはどのような終末期を迎えたいか、準備した人、看取った人の体験を聞き、「これから」Part III 第1回講師の川村直先生をコーディネーターに、私たち一人ひとりの死生観を考えてみませんか。

地域福祉情報紙 ねりま
●皆さんの地域福祉に関する情報をお待ちしています
地域福祉に関するイベント情報・会員募集・定例会活動紹介などの掲載を希望する団体は、下記までお問合せください。

お問合せ: 練馬区福祉部経営課 ☎ 5984-2716